

Dell EMC PowerEdge XE7420

仕様詳細

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: PowerEdge XE7420 の概要	4
章 2: 技術仕様	5
PowerEdge XE7420 スレッドの寸法.....	5
シャーシの重量.....	6
プロセッサの仕様.....	6
冷却仕様.....	6
対応オペレーティング システム.....	7
システム バッテリー.....	7
拡張バスの仕様.....	7
メモリの仕様.....	8
ドライブとストレージの仕様.....	8
ビデオの仕様.....	9
環境仕様.....	9
動作時の標準温度の仕様.....	9
動作時の拡張温度の仕様.....	9
粒子状およびガス状汚染物質の仕様.....	10
最大振動の仕様.....	11
最大衝撃の仕様.....	11
最大高度の仕様.....	11
章 3: システム診断とインジケータ コード	12
ステータス LED インジケータ.....	12
システム正常性とシステム ID インジケータコード.....	12
iDRAC ダイレクト LED インジケータコード.....	13
NIC インジケータコード.....	13
電源供給ユニットインジケータ コード.....	14
ドライブインジケータコード.....	15
システム診断プログラムの使用.....	16
Dell 組み込み型システム診断.....	16
章 4: マニュアルリソース	18
章 5: 困ったときは	21
Dell EMC へのお問い合わせ.....	21
マニュアルのフィードバック.....	21
QRL によるシステム情報へのアクセス.....	21
XE7100、XE7420、および XE7440 のシステム用クイック リソース ロケーター.....	22
SupportAssist による自動サポートの利用.....	22
リサイクルまたはサービス終了の情報.....	22

PowerEdge XE7420 の概要

PowerEdge XE7420 サーバーは、次のものをサポートする 1U サーバーです。

- 2 基の Intel Xeon Cascade Lake scalable プロセッサ (最大 150 W)、プロセッサごとに 26 コアを搭載
- DDR4 RDIMM および負荷低減 DIMM x 16
- フラッシュ階層化の増加に対応する FE1 カード
- 拡張および接続用の PCIe アダプターと Open Compute Project (OCP) アダプター

メモ: インテル Xeon Processor Scalable プロセッサとファブリック コネクタは、ネイティブ Omnipath とも呼ばれます。

メモ: PowerEdge XE7440 システムの主な用途はインテリジェントなビデオ分析とメディア ストリーミングです。

技術仕様

本項では、お使いのシステムの技術仕様と環境仕様の概要を示します。

トピック：

- ・ PowerEdge XE7420 スレッドの寸法
- ・ シャーシの重量
- ・ プロセッサの仕様
- ・ 冷却仕様
- ・ 対応オペレーティングシステム
- ・ システム バッテリー
- ・ 拡張バスの仕様
- ・ メモリの仕様
- ・ ドライブとストレージの仕様
- ・ ビデオの仕様
- ・ 環境仕様

PowerEdge XE7420 スレッドの寸法

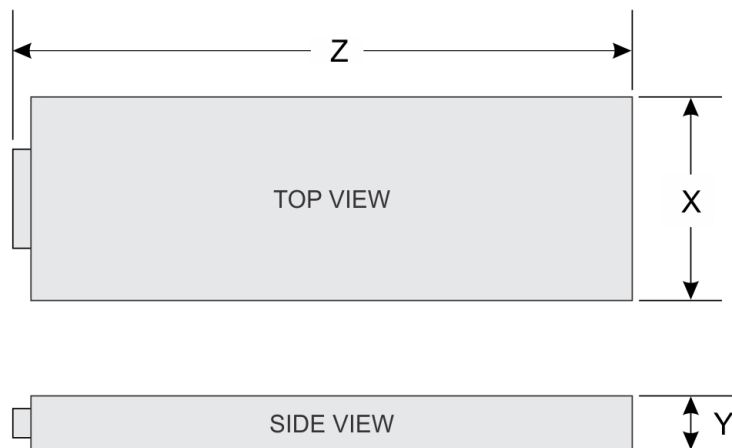


図 1. PowerEdge XE7420 スレッドの寸法

表 1. PowerEdge XE7420 スレッドの寸法

X	はい	Z
187 mm (7.36 インチ)	56.65 mm (2.23 インチ)	691 mm (27.20 インチ)

シャーシの重量

表 2. PowerEdge XE7440 および XE7420 のスレッドを搭載した PowerEdge XE7100 エンクロージャのシャーシ重量

システム	最大重量 (すべてのスレッドおよびドライブ)
スレッド非搭載のシャーシの重量	132.26 kg (291.58 lb)
ハーフワイド スレッド (XE7420) を搭載したシャーシの重量	137.12 kg (302.29 lb)
フルワイド フルハイト スレッド (XE7440) を搭載したシャーシの重量	140.93 kg (310.69 lb)
フルワイド ロープロファイル スレッド (XE7440) を搭載したシャーシの重量	142.81 kg (341.84 lb)

プロセッサの仕様

PowerEdge XE7420 スレッドでは、独立した各スレッドで最大 2 基の Intel Xeon Scalable プロセッサがサポートされています。各プロセッサでは最大 26 コアがサポートされています。

冷却仕様

2 個の PowerEdge XE7420 ノード/スレッド、または 1 個の PowerEdge XE7440 ノード/スレッドを搭載した PowerEdge XE7100 シャーシには、ファンが 18 個あります。これらのファンは 3 種類のファン ゾーン (シャーシ、Node_A、および Node_B) に分けられており、各ゾーンにはファンが 6 個あります。

シャーシ ファンはシングル ローター ファンで、スレッド ファンはデュアル ローター ファンです。

ハーフワイド (HW) スレッドの場合、スレッド 1 はノード 1、スレッド 2 はノード 2 です。

表 3. ファンのナンバリング

PowerEdge システム	ファンのナンバリング
XE7100 : シャーシ	1~6
XE7440 (シングル スレッド)	7~12、13~18
XE7420 (デュアル スレッド)	Node_A : 7~12、Node_B : 13~18

メモ: ファン センサーの読み取りとレポートは、シャーシ ファン、Node_A ファン、および Node_B ファンの順に行われ、センサーのナンバリングはそれぞれ 1~6、7~12、および 13~18 です。

- XE7420 の場合、スレッド 1/ノード 1 により、6 個のシャーシ ファン センサー (1~6) とスレッド 1 ファン センサー (7~12) がレポートされます。
- XE7420 の場合、スレッド 2/ノード 2 により、6 個のシャーシ ファン センサー (1~6) とスレッド 2 ファン センサー (13~18) がレポートされます。


冷却ファンのマッピング

表 4. 冷却ファンのマッピング

ファンの名前と構成	iDRAC センサー番号
(シャーシ) FAN 1	38
ファン 2	39

表 4. 冷却ファンのマッピング (続き)


ファンの名前と構成	iDRAC センサー番号
ファン 3	3A
ファン 4	3B
ファン 5	3C
ファン 6	3D
(Node_A) FAN 7	3E
FAN 8	3F
FAN 9	40
FAN 10	41
FAN 11	42
FAN 12	43
(Node_B) FAN 13	44
FAN 14	45
FAN 15	46
FAN 16	47
FAN 17	E2
FAN 18	E3

 **メモ:** すべてのナンバリングは、各ファンに刻印されています。

対応オペレーティングシステム


PowerEdge XE7420 では、次のオペレーティングシステムがサポートされています。

- Red Hat Enterprise Linux 8.1
- SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1
- Microsoft Windows Server 2019
- Canonical Ubuntu 18.04.03
- VMware ESXi 6.7 U3
- CentOS 7.6

 **メモ:** 特定のバージョンおよび追加の詳細については、<https://www.dell.com/ossupport> を参照してください。

システム バッテリー

PowerEdge XE7420 スレッドは、交換可能な CR 2032 3V コイン型リチウム電池を使用します。

 **メモ:** 各スレッドにシステムのバッテリーがあります。

拡張バスの仕様

PowerEdge XE7420 スレッドは、第 3 世代に対応した PCIe スロット 4 基をサポートします。

表 5. 拡張バスの仕様

PCIe スロット	説明	フォーム ファクター
x8 DCS メザニン PCIe ライザー	スロット 1: プロセッサ-1 からの x8 PCIe Gen3	mini PERC フォーム ファクター
x8+x8 OCP メザニン ライザー	スロット 2: プロセッサ-1 からの x8 PCIe Gen3	標準 Open Compute Project (OCP) フォーム ファクター
	スロット 3: プロセッサ-1 からの x8 PCIe Gen3	
X16 PCIe メイン ライザー	スロット 4: x16 PCIe Gen3 プロセッサ-1	標準ロープロファイル PCIe フォーム ファクター
x16 M.2 ライザー	スロット 5 および 6: プロセッサ-2 からの x16 PCIe Gen3	カスタム フォーム ファクター (PERC カード)

メモリの仕様

表 6. メモリの仕様

メモリモジュールソケット	DIMM のタイプ	DIMM のランク	DIMM の容量	シングル プロセッサ		デュアル プロセッサ	
				最小 RAM	最大 RAM	最小 RAM	最大 RAM
288 ピン (16)	LRDIMM	オクタルランク	128 GB	128 GB	1024 GB	256 GB	2048 GB
		シングルランク	8 GB	8 GB	64 GB	16 GB	128 GB
	RDIMM	デュアルランク	16 GB	16 GB	128 GB	32 GB	256 GB
			32 GB	32 GB	256 GB	64 GB	512 GB
			64 GB	64 GB	512 GB	128 GB	1024 GB

ドライブとストレージの仕様

PowerEdge XE7420 エンクロージャでは、SAS および SATA のハードドライブとソリッドステートドライブ (SSD) がサポートされています。

表 7. エンクロージャ搭載 PowerEdge XE7420 スレッドでサポートされているドライブ オプション

エンクロージャ内のドライブの最大数	スレッドごとに割り当てられたドライブの最大数
100 個の 3.5 インチ ドライブ システム	スレッドあたり 50 個の SAS または SATA ハードドライブおよび SSD
4 個の 2.5 インチ ドライブ システム	スレッドあたり 4 個の SAS または SATA ハードドライブや SSD
NVMe を搭載した 4 個の 2.5 インチ ドライブ システム	NVMe バックプレーンは、次のいずれかの構成をサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> スレッドあたり 2 個の NVMe ドライブ、および 2 個の SAS または SATA ハードドライブや SSD
M.2 SATA ドライブ (オプション)	M.2 SATA カードでサポートされている容量は、最大 240 GB です メモ: M.2 SATA カードは、x8 (スロット 1) メザニン ライザーまたは x16 ライザー スロット (スロット 5) に取り付けすることができます。
起動用マイクロ SD カード (オプション) (最大 64 GB)	各スレッドの PCIe ライザーごとに 1 個

ビデオの仕様

PowerEdge XE7420 スレッドは、16 MB RAM の Matrox G200 統合グラフィックスカードをサポートしています。

表 8. サポートされているビデオ解像度のオプション

解像度	リフレッシュレート (Hz)	色深度 (ビット)
1024 x 768	60	最大 24
1280 x 800	60	最大 24
1280 x 1024	60	最大 24
1360 x 768	60	最大 24
1440 x 900	60	最大 24

環境仕様

以下のセクションには、システムの環境仕様についての情報が含まれています。

メモ: 環境認定の詳細については、www.dell.com/poweredgemanuals の [マニュアルおよび文書] にある『製品環境データシート』を参照してください。

動作時の標準温度の仕様

メモ: 周囲温度がこれらの表に記載されている連続稼働時最高温度以下である場合、DIMM、通信カード、M.2 SATA、および PERC カードを含むすべてのコンポーネントを、十分な熱マージンでサポートすることができます。(Mellanox DP LP カードと Intel Rush Creek カードを除く)

表 9. 動作時の標準温度の仕様

標準動作温度	仕様
温度範囲 (高度 900 m (2953 フィート) 未満)	10 ~ 35°C (50 ~ 95°F)、装置への直射日光なし。

動作時の拡張温度の仕様

メモ: 動作時の拡張温度範囲で使用すると、システムのパフォーマンスに影響が生じる場合があります。

メモ: 拡張温度範囲でシステムを使用している際に、システムイベント ログに周囲温度の警告が報告される場合があります。

動作時温度ディレーティングの仕様

表 10. 動作時温度

動作時温度ディレーティング	仕様
≤ 35°C (95°F)	900 m (2953 フィート) を超える高度では、最高温度は 300 m (984 フィート) ごとに 1°C (1.8°F) 低くなります。
35°C ~ 40°C (95°F ~ 104°F)	900 m (2953 フィート) を超える高度では、最高温度は 175 m (574 フィート) ごとに 1°C (1.8°F) 低くなります。
40°C ~ 45°C (104°F ~ 113°F)	900 m (2953 フィート) を超える高度では、最高温度は 125 m (410 フィート) ごとに 1°C (1.8°F) 低くなります。

相対湿度の仕様

表 11. 相対湿度の仕様

相対湿度	仕様
ストレージ	最大露点 27°C (80.6°F) で 5~95% の RH。常に結露が発生しない環境にしておく必要があります。
動作時	<ul style="list-style-type: none"> • < 35°C (95°F): 最小露点 -12°C での 8% RH ~ 最大露点 21°C (69.8°F) での 80% RH。 • 35°C ~ 40°C (95°F ~ 104°F): 最小露点 -12°C での 8% RH ~ 最大露点 24°C (75.2°F) での 85% RH。 • 40°C ~ 45°C (104°F ~ 113°F): 最小露点 -12°C での 8% RH ~ 最大露点 24°C (75.2°F) での 90% RH

温度の仕様

表 12. 温度の仕様

温度	仕様
ストレージ	-40°C ~ 65°C (-40°F ~ 149°F)
継続動作 (高度 950 m (3117 フィート) 未満)	10°C ~ 35°C (50°F ~ 95°F)、装置への直射日光なし。
動作時の拡張温度	拡張作動温度の詳細については、「拡張作動温度」の項を参照してください。
最大温度勾配 (動作時および保管時)	20°C/h (68°F/h)

① **メモ:** 一部の構成ではさらに低い周囲温度が要求されます。詳細については、「動作時の標準温度の仕様」を参照してください。

粒子状およびガス状汚染物質の仕様

表 13. 粒子状汚染物質の仕様

粒子汚染	仕様
空気清浄	データセンターの空気清浄レベルは、ISO 14644-1 の ISO クラス 8 の定義に準じて、95% 上限信頼限界です。
① メモ: この条件はデータセンターの環境にのみ適用されます。空気清浄要件は、事務所や工場現場などのデータセンター外での使用のために設計された IT 装置には適用されません。	
① メモ: データセンターに吸入される空気は、MERV11 または MERV13 フィルタで濾過する必要があります。	
伝導性ダスト	空気中に伝導性ダスト、亜鉛ウイスカ、またはその他伝導性粒子が存在しないようにする必要があります。
① メモ: この条件は、データセンター環境と非データセンター環境に適用されます。	
腐食性ダスト	空気中に腐食性ダストが存在しないようにする必要があります。
空気中の残留ダストは、潮解点が相対湿度 60% 未満である必要があります。	
① メモ: この条件は、データセンター環境と非データセンター環境に適用されます。	

表 14. ガス状汚染物質の仕様

ガス状汚染物	仕様
銅クーポン腐食度	クラス G1 (ANSI/ISA71.04-2013 の定義による) に準じ、ひと月あたり 300 Å 未満。
銀クーポン腐食度	クラス G1 (ANSI/ISA71.04-2013 の定義による) に準じ、ひと月あたり 200 Å 未満。
ⓘ メモ: 50% 以下の相対湿度で測定された最大腐食汚染レベル	

最大振動の仕様

表 15. 最大振動の仕様

最大耐久震度	仕様
動作時	0.26 Grms (5 ~ 350 Hz) (全稼働方向)。
ストレージ	1.88 Grms (10 ~ 500 Hz) で 15 分間 (全 6 面で検証済)。

最大衝撃の仕様

表 16. 最大衝撃の仕様

最大耐久衝撃	仕様
動作時	X、y、z 軸の正および負方向に 6 G の衝撃パルスを 24 回、11 ミリ秒以下 (システムの各面に対して 4 パルス)。
ストレージ	X、y、z 軸の正および負方向に 2 ミリ秒以下で 71 G の 6 連続衝撃パルス (システムの各面に対して 1 パルス)。

最大高度の仕様

表 17. 最大高度の仕様

最大高度	仕様
動作時	3,048 m (10,000 ft)
ストレージ	12,000 m (39,370 フィート)

システム診断とインジケータコード

システムの前面パネルにある診断インジケータには、システム起動時にシステムステータスが表示されます。

トピック：

- ・ ステータス LED インジケータ
- ・ システム正常性とシステム ID インジケータコード
- ・ iDRAC ダイレクト LED インジケータコード
- ・ NIC インジケータコード
- ・ 電源供給ユニットインジケータコード
- ・ ドライブインジケータコード
- ・ システム診断プログラムの使用

ステータス LED インジケータ

メモ: エラーが発生すると、インジケータが橙色に点灯します。

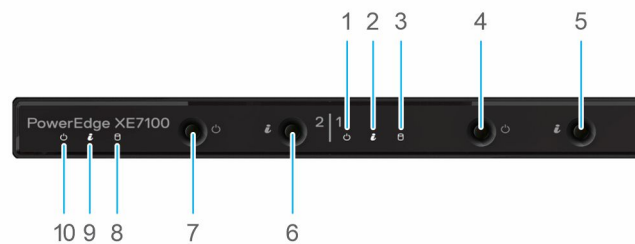


図 2. ステータス LED インジケータ

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 電源 LED | 2. ID LED/MB ステータス (青色/橙色) |
| 3. エキスパンダー ステータス LED (橙色) | 4. 電源ボタン |
| 5. ID ボタン | 6. ID ボタン |
| 7. 電源ボタン | 8. エキスパンダー ステータス LED (橙色) |
| 9. ID LED/MB ステータス (青色/橙色) | 10. 電源 LED |

システム正常性とシステム ID インジケータコード

システム正常性およびシステム ID インジケータは、システムの左側コントロール パネル上にあります。

表 18. システム正常性とシステム ID インジケータコード

システムの正常性とシステム ID インジケータコード	状態
青色に点灯	システムの電源がオンで、正常な状態であり、システム ID モードがアクティブでないことを示しています。システムの正常性とシステム ID のボタンを押してシステム ID モードに切り替えます。
青色の点滅	システム ID のモードがアクティブであることを示します。システムの正常性とシステム ID のボタンを押してシステムの正常モードに切り替えます。
橙色の点灯	システムがフェイルセーフモードに失敗したことを示します。問題が解決しない場合は、「困ったときは」の項を参照してください。

表 18. システム正常性とシステム ID インジケータコード (続き)

システムの正常性とシステム ID インジケータコード	状態
橙色に点滅	システムが、障害が発生していることを示します。特定のエラーメッセージについては、システム イベント ログを確認してください。システム ファームウェアおよびシステム コンポーネントを監視するエージェントにより作成されたイベントおよびエラーメッセージの詳細については、 qrl.dell.com >Look Up> Error Code にアクセスし、エラーコードを入力してから、 検索 をクリックしてください。

iDRAC ダイレクト LED インジケータコード

iDRAC ダイレクト LED インジケータが点灯して、ポートが接続され、iDRAC サブシステムの一部として使用されていることを示します。

iDRAC ダイレクトを設定するには、ノートパソコンまたはタブレットに接続できるように、USB から micro USB (タイプ AB) へのケーブルを使用します。ケーブル長は 0.91m (3 フィート) を超えないようにしてください。パフォーマンスは、ケーブルの品質によって影響を受ける可能性があります。次の表は、iDRAC ダイレクト ポートがアクティブな場合の iDRAC ダイレクトの動作について説明しています。

表 19. iDRAC ダイレクト LED インジケータコード

iDRAC ダイレクト LED インジケータコード	状態
2 秒間緑に点灯	ノートパソコンまたはタブレットが接続されていることを示します。
緑色の点滅 (2 秒間点灯し、2 秒間消灯)	ノートパソコンまたはタブレットの接続が認識されていることを示しています。
消灯	ノートパソコンまたはタブレットが電源に接続されていないことを示します。

NIC インジケータコード

システム背面の各 NIC には、動作およびリンク状態に関する情報を提供するインジケータがあります。アクティビティ LED インジケータはデータが NIC を介して流れているかどうかを示し、リンク LED インジケータは接続されているネットワークの速度を示します。

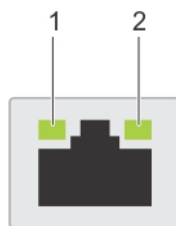


図 3. NIC インジケータコード

1. リンク LED インジケータ
2. アクティビティ LED インジケータ

表 20. NIC インジケータコード

NIC インジケータコード	状態
リンクおよびアクティビティ インジケータが消灯している。	NIC がネットワークに接続されていないことを示します。
リンク インジケータは緑色で、アクティビティインジケータは緑色に点滅している。	NIC は最大ポート速度で有効なネットワークに接続されており、データの送信中または受信中であることを示します。
リンク インジケータはオレンジ色で、アクティビティインジケータは緑色に点滅している。	NIC は最大ポート速度未満で有効なネットワークに接続されており、データの送信中または受信中であることを示します。

表 20. NIC インジケータコード (続き)

NIC インジケータコード	状態
リンク インジケータは緑色で、アクティビティインジケータは消灯している。	NIC は最大ポート速度で有効なネットワークに接続されていますが、データの送信中または受信中ではないことを示します。
リンク インジケータはオレンジ色で、アクティビティインジケータは消灯している。	NIC は最大ポート速度未満で有効なネットワークに接続されていますが、データの送信中または受信中ではないことを示します。
リンク インジケータは緑色に点滅しており、アクティビティインジケータは消灯している。	NIC の識別が NIC 設定ユーティリティを介して有効になっていることを示します。

電源供給ユニットインジケータコード

AC 電源供給ユニット (PSU) には光る半透明のハンドルがついており、インジケータの役割を果たします。このインジケータにより、電源が入っているか、または電源障害が発生しているかがわかります。

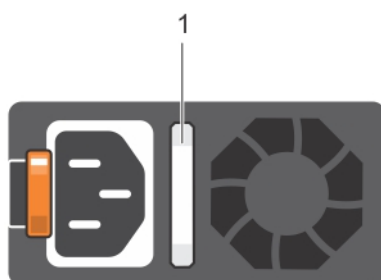


図 4. AC PSU ステータスインジケータ

1. AC PSU ステータスインジケータ / ハンドル

表 21. AC PSU ステータス インジケータ コード

電源インジケータコード	状態
緑色	有効な電源が PSU に接続されており、PSU が稼働中であることを示します。
橙色に点滅	PSU の問題を示します。
点灯していない	電源が PSU に接続されていないことを示します。
緑色の点滅	PSU のファームウェアがアップデート中であることを示します。 △注意: ファームウェアをアップデートしている際に、電源コードを外したり PSU を抜いたりしないでください。ファームウェア アップデートが中断した場合、PSU は機能しなくなります。
緑色に点滅後、消灯	PSU のホットプラグ対応時に、4 Hz のレートで緑色に 5 回点滅して消灯します。これは、効率性、機能設定、正常性ステータス、またはサポートする電圧に関する、PSU の不整合を示します。 △注意: 2 台の PSU が取り付けられている場合、両方の PSU のラベルは同じタイプである必要があります (例: 拡張電源パフォーマンス (EPP) のラベル)。前の世代の PowerEdge サーバで使用されていた PSU の混在は、PSU の電源定格が同じであってもサポートされません。混在させると、PSU が不整合状態になったり、システムの電源が入らなくなったりします。 △注意: 2 台の PSU を使用する場合は、両方のタイプと最大出力電力が同一である必要があります。 △注意: PSU の不整合を修正する場合は、インジケータが点滅している PSU をリプレースしてください。ペアを一致させるために他の PSU をリプレースすると、エラー状態および予期しないシステムシャットダウンの原因となる場合があります。高出力構成から低出力構成、またはその逆へ変更するには、システムの電源を切る必要があります。 △注意: AC PSU は、240 V のみをサポートするチタニウム PSU を除き、240 V と 120 V の両方の入力電圧をサポートします。2 台の PSU に異なる入力電圧が供給されると、出力されるワット数が異なり、不整合を招くことがあります。

表 22. DC PSU ステータス インジケータ コード

電源インジケータコード	状態
緑色	有効な電源が PSU に接続されており、PSU が稼働中であることを示します。
橙色に点滅	PSU の問題を示します。
点灯していない	電源が PSU に接続されていないことを示します。
緑色の点滅	<p>PSU のホットプラグ対応時に、4 Hz のレートで緑色に 5 回点滅して消灯します。これは、効率性、機能設定、正常性ステータス、またはサポートする電圧に関する、PSU の不整合を示します。</p> <p>△ 注意: 2 台の PSU が取り付けられている場合、両方の PSU のラベルは同じタイプである必要があります(例: 拡張電源パフォーマンス (EPP) のラベル)。前の世代の PowerEdge サーバで使用されていた PSU の混在は、PSU の電源定格が同じであってもサポートされません。混在させると、PSU が不整合状態になったり、システムの電源が入らなくなったりします。</p> <p>△ 注意: 2 台の PSU を使用する場合は、両方のタイプと最大出力電力が同一である必要があります。</p> <p>△ 注意: PSU の不整合を修正する場合は、インジケータが点滅している PSU をリプレースしてください。ペアを一致させるために他の PSU をリプレースすると、エラー状態および予期しないシステム シャットダウンの原因となる場合があります。高出力構成から低出力構成、またはその逆へ変更するには、システムの電源を切る必要があります。</p> <p>△ 注意: AC PSU と DC PSU との組み合わせはサポートされていません。</p>

ドライブインジケータコード

ドライブ キャリアの LED は各ドライブの状態を示します。各ドライブ キャリアには、アクティビティ LED (緑色) とステータス LED (2色、緑/オレンジ) の 2 つの LED があります。ドライブにアクセスすると、その都度アクティビティ LED が点滅します。



図 5. ドライブインジケータ

1. ドライブアクティビティ LED インジケータ
2. ドライブステータス LED インジケータ
3. ドライブの容量ラベル

メモ: ドライブが Advanced Host Controller Interface (AHCI) モードの場合、ステータス LED インジケータは点灯しません。

メモ: ドライブステータスインジケータの動作はストレージ・スペースを直接によって管理されます。すべてのドライブのステータスインジケータはありません使用場合があります。

表 23. ドライブインジケータコード

ドライブステータスインジケータコード	状態
1秒間に2回緑色に点滅 オフ	ドライブの識別中、または取り外し準備中であることを示します。 ドライブを安全に取り外す準備ができていないことを示します。 ① メモ: システムへの電源投入後、ドライブステータスインジケータは、すべてのドライブが初期化されるまで消灯したままです。この間、ドライブの挿入または取り外し準備はできていません。
緑色、オレンジに点滅後、消灯	ドライブ障害の可能性を示します。
1秒間に4回橙色に点滅	ドライブに障害が発生したことを示します。
緑色にゆっくり点滅	ドライブが再構築中であることを示します。
緑色の点灯	ドライブがオンラインであることを示します。
緑色に3秒間点滅、オレンジに3秒間点滅、その後6秒後に消灯	再構築が停止したことを示します。

システム診断プログラムの使用

システムに問題が起こった場合、デルのテクニカルサポートに電話する前にシステム診断プログラムを実行してください。システム診断プログラムを使うと、特別な装置を使用せずにシステムのハードウェアをテストでき、データロスの心配もありません。お客様がご自分で問題を解決できない場合でも、サービスおよびサポート担当者が診断プログラムの結果を使って問題解決の手助けを行うことができます。

Dell 組み込み型システム診断

① **メモ:** Dell 組み込み型システム診断は、Enhanced Pre-boot System Assessment (ePSA) 診断としても知られています。

組み込み型システム診断プログラムには、特定のデバイスグループや各デバイス用の一連のオプションが用意されており、以下の処理が可能です。

- テストを自動的に、または対話モードで実行
- テストの繰り返し
- テスト結果の表示または保存
- 詳細なテストで追加のテストオプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示

Dell Lifecycle Controller からの組み込み型システム診断プログラムの実行

手順

1. システム起動中に F10 を押します。
2. **Hardware Diagnostics** (ハードウェア診断) → **Run Hardware Diagnostics** (ハードウェア診断の実行) を選択します。
ePSA Pre-boot System Assessment (ePSA 起動前システムアセスメント) ウィンドウが表示され、システム内に検知された全デバイスがリストアップされます。Diagnostics (診断) が検知された全デバイスのテストを開始します。

起動マネージャからの組み込み型システム診断プログラムの実行

お使いのシステムが起動しない場合に、組み込み型システム診断プログラム (ePSA) を実行します。

手順

1. システムの起動中に、F11 を押します。
2. 上下矢印キーを使用して、**System Utilities** > **Launch Diagnostics** と選択します。

3. または、システムの起動中に F10 を押して、**Hardware Diagnostics > Run Hardware Diagnostics** と選択します。
ePSA Pre-boot System Assessment (ePSA 起動前システムアセスメント) ウィンドウが表示され、システム内に検知された全デバイスがリストアップされます。Diagnostics (診断) が検知された全デバイスのテストを開始します。

タスクの結果

システム診断プログラムのコントロール

表 24. システム診断プログラムのコントロール

メニュー	説明
構成	検知された全デバイスの設定およびステータス情報が表示されます。
Results	実行された全テストの結果が表示されます。
System health	システムパフォーマンスの現在の概要が表示されます。
Event log	システムで実行された全テストの結果のタイムスタンプ付きログが表示されます。少なくとも1つのイベントの説明が記録されていれば、このログが表示されます。

マニュアルリソース

本項では、お使いのシステムのマニュアルリソースに関する情報を提供します。

マニュアル リソースの表に記載されているマニュアルを表示するには、次の手順を実行します。

- Dell EMC サポート サイトにアクセスします。
 1. 表の「場所」列に記載されているマニュアルのリンクをクリックします。
 2. 目的の製品または製品バージョンをクリックします。
 - ① **メモ:** 製品名とモデルを確認する場合は、お使いのシステムの前面を調べてください。
 3. [製品サポート] ページで、[マニュアルおよび文書] をクリックします。
- 検索エンジンを使用します。
 - 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

表 25. お使いのシステムのためのその他マニュアルのリソース

タスク	文書	場所
システムのセットアップ	<p>システムをラックに取り付けて固定する方法の詳細については、お使いのレールソリューションに同梱の『レール取り付けガイド』を参照してください。</p> <p>お使いのシステムのセットアップに関する詳細については、システムに付属しているスタートガイドドキュメントを参照してください。</p>	www.dell.com/xemanuals
システムの設定	<p>iDRAC 機能、iDRAC の設定と iDRAC へのログイン、およびシステムのリモート管理についての情報は、『Integrated Dell Remote Access Controller User's Guide』 (Integrated Dell Remote Access Controller ユーザーズ ガイド) を参照してください。</p> <p>Remote Access Controller Admin (RACADM) サブコマンドとサポートされている RACADM インターフェイスについては、iDRAC の『RACADM CLI ガイド』を参照してください。</p> <p>Redfish の情報とそのプロトコル、サポートされているスキーマ、iDRAC に実装されている Redfish Eventing については、『Redfish API ガイド』を参照してください。</p> <p>iDRAC のプロパティ データベース グループとオブジェクトの説明に関する情報の詳細は、『属性レジストリー ガイド』を参照してください。</p>	www.dell.com/poweredgemanuals

表 25. お使いのシステムのためのその他マニュアルのリソース (続き)

タスク	文書	場所
	<p>インテル QuickAssist テクノロジーの詳細については、『Integrated Dell Remote Access Controller ユーザーズ ガイド』を参照してください。</p>	
	<p>旧バージョンの iDRAC のマニュアルについて。</p> <p>お使いのシステムで使用可能な iDRAC バージョンを確認するには、iDRAC Web インターフェイスで、? > 概要 をクリックします。</p>	<p>www.dell.com/idracmanuals</p>
	<p>オペレーティング システムのインストールについての情報は、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。</p>	<p>www.dell.com/operatingsystemmanuals</p>
	<p>ドライバおよびファームウェアのアップデートについての情報は、本書の「ファームウェアとドライバをダウンロードする方法」の項を参照してください。</p>	<p>www.dell.com/support/drivers</p>
システムの管理	<p>Dell が提供するシステム管理ソフトウェアについての情報は、『Dell OpenManage Systems Management Overview Guide』(Dell OpenManage Systems Management 概要ガイド) を参照してください。</p>	<p>www.dell.com/poweredgemanuals</p>
	<p>OpenManage のセットアップ、使用、およびトラブルシューティングについての情報は、『Dell OpenManage Server Administrator ユーザーズ ガイド』を参照してください。</p>	<p>www.dell.com/openmanagemanuals > OpenManage サーバー管理者</p>
	<p>Dell OpenManage Enterprise のインストール、使用、およびトラブルシューティングについての情報は、『Dell OpenManage Essentials ユーザーズ ガイド』を参照してください。</p>	<p>www.dell.com/openmanagemanuals</p>
	<p>Dell SupportAssist のインストールおよび使用の詳細については、『Dell EMC SupportAssist Enterprise ユーザーズ ガイド』を参照してください。</p>	<p>https://www.dell.com/serviceabilitytools</p>
	<p>パートナープログラムのエンタープライズシステム管理についての情報は、OpenManage Connections Enterprise Systems Management マニュアルを参照してください。</p>	<p>www.dell.com/openmanagemanuals</p>
Dell PowerEdge RAID コントローラの操作	<p>Dell PowerEdge RAID コントローラ (PERC)、ソフトウェア RAID コントローラ、BOSS カードの機能を把握するための情報や、カードの導入に関する情報については、ストレージコントローラのマニュアルを参照してください。</p>	<p>www.dell.com/storagecontrollermanuals</p>
イベントおよびエラーメッセージの理解	<p>システム ファームウェアおよびシステム コンポーネントを監視するエージェントにより作成されたイベントおよびエラーメッセージの詳細については、qrl.dell.com>Look Up > Error Code にアクセスしてください。</p>	<p>www.dell.com/qrl</p>

表 25. お使いのシステムのためのその他マニュアルのリソース (続き)

タスク	文書	場所
	セスし、エラーコードを入力してから、 検索 をクリックしてください。	
システムのトラブルシューティング	PowerEdge サーバーの問題を特定してトラブルシューティングを行うための情報については、『サーバトラブルシューティングガイド』を参照してください。	www.dell.com/poweredgemanuals

困ったときは

トピック：

- ・ Dell EMC へのお問い合わせ
- ・ マニュアルのフィードバック
- ・ QRL によるシステム情報へのアクセス
- ・ SupportAssist による自動サポートの利用
- ・ リサイクルまたはサービス終了の情報

Dell EMC へのお問い合わせ

Dell EMC では、オンラインおよび電話によるサポートとサービス オプションをいくつかご用意しています。お使いのコンピューターがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、または Dell EMC 製品カタログで連絡先をご確認ください。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。Dell EMC のセールス、テクニカル サポート、またはカスタマー サービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

手順

1. www.dell.com/support/home にアクセスします。
2. お住まいの国を、ページ右下隅のドロップダウンメニューから選択します。
3. カスタマイズされたサポートを利用するには、次の手順に従います。
 - a. **サービス タグを入力** します フィールドに、お使いのシステムのサービス タグを入力します。
 - b. **送信** をクリックします。
さまざまなサポートのカテゴリをリストアップしているサポートページが表示されます。
4. 一般的なサポートを利用するには、次の手順に従います。
 - a. 製品カテゴリを選択します。
 - b. 製品セグメントを選択します。
 - c. お使いの製品を選択します。
さまざまなサポートのカテゴリをリストアップしているサポートページが表示されます。
5. Dell EMC グローバル テクニカル サポートへのお問い合わせ先の詳細については、次の手順に従います。
 - a. [**グローバルテクニカル サポート**] をクリックします。
 - b. [**テクニカル サポートへのお問い合わせ**] ページには、Dell EMC グローバル テクニカル サポート チームへの電話、チャット、または電子メール送信のための詳細が記載されています。

マニュアルのフィードバック

任意の Dell EMC マニュアル ページでマニュアルを評価するか、フィードバックを書き、**フィードバックの送信** をクリックしてフィードバックを送信できます。

QRL によるシステム情報へのアクセス

PowerEdge XE7420 の前面にある情報タグに記載されているクイック リソース ロケーター (QRL) を使用して、PowerEdge XE7420 に関する情報にアクセスできます。

前提条件

お使いのスマートフォンまたはタブレットに QR コードスキャナーがインストールされていることを確認します。

QRL には、お使いのシステムに関する次の情報が含まれています。

- ハウツービデオ
- インストールおよびサービス マニュアル、LCD 診断、機械的概要などの参照資料
- 特定のハードウェア構成および保証情報に簡単にアクセスするためのシステムのサービス タグ
- テクニカルサポートや営業チームへのお問い合わせのためのデルへの直接的なリンク

手順

1. www.dell.com/qrl にアクセスして、お使いの製品に移動する、または
2. システム上、または「クイックリソースロケータ」セクションで、お使いのスマートフォンまたはタブレットを使用してモデル固有のクイックリソース (QR) コードをスキャンします。

XE7100、XE7420、および XE7440 のシステム用クイック リソース ロケーター



図 6. PowerEdge XE7100、XE7420、および XE7440 のシステム用クイック リソース ロケーター

SupportAssist による自動サポートの利用

Dell EMC SupportAssist は、Dell EMC のサーバ、ストレージ、ネットワーク デバイスのテクニカル サポートを自動化するオプションの Dell EMC Services です。SupportAssist アプリケーションをインストールしてご利用の IT 環境にセットアップすると、次のようなメリットがあります。

- **自動問題検知** — SupportAssist は Dell EMC デバイスを監視し、プロアクティブかつ予測的にハードウェアの問題を自動検出します。
- **ケースの自動作成** — 問題が検出されると、SupportAssist が Dell EMC テクニカル サポートでサポート ケースを自動的にオープンします。
- **自動診断収集** — SupportAssist は、お使いのデバイスからシステム状態情報を自動的に収集して、安全に Dell EMC にアップロードします。この情報は、Dell EMC テクニカル サポートによる、課題のトラブルシューティングに使用されます。
- **プロアクティブな連絡** — Dell EMC テクニカル サポート担当者がサポート ケースについて連絡し、問題を解決するお手伝いをします。

使用可能なメリットは、お使いのデバイス用に購入した Dell EMC Service の利用資格に応じて異なります。SupportAssist の詳細については、www.dell.com/supportassist を参照してください。

リサイクルまたはサービス終了の情報

特定の国では、この製品の引き取りおよびリサイクル サービスが提供されます。システム コンポーネントを廃棄する場合は、www.dell.com/recyclingworldwide にアクセスし、該当する国を選択します。